

行動計画の目標の達成等の状況  
(別添2)

(1) 生産から消費に至る食品の安全性の確保

\* 分類欄は、1：廃止、2：継続、3：その他

目標とする事項	取り組み、事業	指標	関係部署	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方針		備考
									分類	内容	
農産物（林産物を含む）の 安全性の確保	農薬取締法の遵守	農薬販売業者及び使用者への立入検査、巡回指導数	県農業技術課	立入 100件/年	立入 100件/年 巡回 50件/年	立入 99件/年 巡回 10件/年	立入 99% 巡回 20%	立入 - 巡回 -	2	継続して推進していく。 巡回指導については、関係機関と連携し強化していく。	
		農薬管理指導士認定者数	県農業技術課	501人	600人	562人	94%	62%	2	継続して推進していく。	
		農薬適正使用アドバイザー認定者数	県農業技術課	-	300人	105人	35%	-	2	継続して推進していく。	
		非農耕地用除草剤の販売点検店舗数	山梨農政事務所	70店舗/年	420店舗	164店舗	39%	-	2	引き続き実施。農薬登録を受けていない除草剤の販売状況点検。18年度末までに農薬登録販売店を一巡予定。	
	特用林産物生産技術研修会の実施（品質向上研修会）	研修開催回数	県林業振興課	2回/年	6回/年	6回/年	100%	100%	2	開催地区の統合により規模を拡大して実施。	
畜産物の安全性の確保	飼料安全法の遵守	違法飼料給与農家割合	県畜産課	0%	0%	0%	達成	-	2	引き続き実施していく。	
		飼料の安全性について啓発指導した牛飼養農家戸数割合	県畜産課	100%	100%	100%	100%	-	2	引き続き実施していく。	
	家畜伝染病予防法の遵守	家畜伝染病の発生回数	県畜産課	4～5回/年	0回/年	6回	未達成	33%	2	衛生管理の徹底等、家畜保健衛生所による指導を引き続き実施していく。	
	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理手法の導入	HACCP方式のデータ収集（特定疾病の実態調査）	県畜産課	240検体	720検体	240検体	33%	-	2	継続して推進していく。	
減農薬、減化学肥料の取り組みの推進	環境保全型農業の推進	エコファーマー認定数	県農業技術課	1,843人	3,000人	2,404人	80%	48%	2	継続して推進していく。	
	甲斐のこだわり環境農産物認証事業の推進	環境農産物に認証された農産物数	県果樹食品流通課	11	35	45	129%	142%	2	引き続き拡大していく。	
	環境保全型農業の産地化支援	削減栽培取り組み産地数	県農業技術課	-	7	2	29%	-	2	関係機関と連携し強化していく。	
食品製造施設等における安全性の確保	食品製造施設等の監視指導	監視指導計画に基づく監視率	県衛生業務課	-	100%	125%	125%	-	2	山梨県食品衛生監視指導計画に基づき引き続き実施していく。	
	食中毒防止対策	人口10万人あたりの食中毒患者発生数	県衛生業務課	31.1人	22人	15人	147%	177%	2	引き続き実施していく。	
給食施設における安全性の確保	特定給食施設等に対する監視指導の実施	給食施設個別巡回指導実施施設割合	県健康増進課	24.40%	33.30%	32.04%	96%	86%	2	巡回日を定めて実施するなど計画的な取り組みを推進していく。	
		適切な栄養管理がされている施設割合	県健康増進課	-	80% (最終目標100%)	32.04%	40%	-	2	さらに取り組みを推進。	
	学校給食における安全性の確保	学校給食関係者に対する研修会の実施回数	県スポーツ健康課	2回/年	2回/年	2回/年	100%	-	2	引き続き実施していく。	
		学校給食施設巡回指導回数	県スポーツ健康課	約20回/年	約40回/年	27回/年	68%	35%	2	継続して推進していく。	

別添 2

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成16年度末）

食肉処理段階における安全性の確保	と畜検査の実施	と畜場で処理された枝肉の微生物検査を実施した枝肉数	県衛生業務課	牛枝肉 58頭 豚枝肉 64頭	牛枝肉 120頭 豚枝肉 120頭	牛枝肉 144頭 豚枝肉 164頭	120% 137%	139% 179%	2	引き続き実施していく。
	食鳥検査の実施	食鳥処理場で処理された鶏と体の微生物検査を実施した羽数	県衛生業務課	83羽	120羽	84羽	70%	3%	2	衛生管理の推進のため微生物検査による確認・指導を積極的に実施していく。
流通・販売段階における安全性の確保	農畜水産物の農薬、抗菌性物質等の残留検査	監視指導計画に基づく収去検査実施率（残留農薬）	県衛生業務課	-	100%	97%	97%	-	2	引き続き実施していく。
		監視指導計画に基づく収去検査実施率（残留動物用医薬品）	県衛生業務課	-	100%	98%	98%	-	2	引き続き実施していく。
	市場及び販売店等に対する監視指導	監視指導計画に基づく監視率	県衛生業務課	-	100%	市場 69% 販売店等 237%	69% 237%	-	2	引き続き実施していく。
	HACCPシステムの考え方を取り入れた自主管理体制の普及	営業者、従事者への講習会の実施回数	県衛生業務課	174回/年	200回/年	147回/年	74%	104%	2	事業所毎に講習会を開催するなど、さらに積極的に取り組んでいく。
営業者、従事者の受講者数		県衛生業務課	9,412人/年	11,000人/年	9,020人/年	82%	25%	2	事業所毎に講習会を開催するなど、さらに積極的に取り組んでいく。	
消費段階における安全性の確保	県民への食品衛生知識の普及	食品衛生講習会等の開催回数	県衛生業務課	随時	各保健所 1回以上	保健所別：4回 (4保健所) 全県：2回	100%	-	2	引き続き実施していく。
	きのこ鑑定会の実施	きのこ鑑定会開催回数	県林業振興課	13回/年	15回/年	14回/年	93%	50%	2	鑑定員養成のための研修を実施していく。
輸入食品の安全性の確保	輸入食品の監視指導及び収去検査の実施	監視指導計画に基づく監視・検査実施率	県衛生業務課	-	100%	325%	325%	-	2	引き続き実施していく。
食品衛生確保のための調査研究	検査機関の業務管理（GLP）の徹底	GLP外部及び内部点検の実施回数	県衛生業務課	外部点検1回/年 内部点検1回/年	外部点検1回/年 内部点検2回/年以上	外部点検1回/年 内部点検1回/年	100% 50%	- 0%	2	引き続き実施していく。平成18年度には内部点検年2回実施予定。
畜産物の生産のための調査研究の推進	動物用医薬品の適正な使用推進	食肉等への薬剤の残留回数	県畜産課	0回	0回	0回	達成	-	2	引き続き実施していく。
	薬剤耐性菌発現状況の把握	薬剤耐性菌の検査件数	県畜産課	12件	36件	25件	69%	54%	2	継続して推進していく。
魚苗供給・試験指導の充実	健全な種苗の生産	健全な種苗の需給率	県花き農水産課	92%	100%	供給量4.7トン /需要量7.7トン (61%)	61%	387%	2	養殖施設の整備及び養殖技術研修を実施しており、健全な種苗の増産を推進していく。
	養殖魚の防疫対策	養殖業者への巡回指導	県花き農水産課	43業者/全63業者 (68%)	全業者 (100%)	51業者/全63業者 (81%)	81%	40%	2	継続して推進していく。
牛肉トレーサビリティ・システム確立のための調査研究の推進	モデル小売店による生産履歴情報の掲示	ハネ掲示店舗数	県畜産課	31店舗	40店舗	31店舗	78%	0%	2	モデル小売店への取り組みについて、流通と連携し、さらに推進していく。

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成16年度末）

(2) 食品に関する正確な情報の提供

\* 分類欄には、1：廃止、2：継続、3：その他 の別を記入してください。

目標とする事項	取り組み、事業	指標	関係部署	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方針		備考
									分類	内容	
適正な食品表示の徹底	食品表示合同調査の実施	調査店舗数	県食品安全推進室	150店舗/年	600店舗/年	178店舗/年	30%	6%	2	効率的な調査を進めるなど、さらに取り組みを推進していく。	
		食品適正表示実施率100%の店舗割合	県食品安全推進室	21%	60%	40%	67%	49%	2	さらに取り組みを推進していく。	
	食品表示ウォッチャーの設置	食品表示ウォッチャー数	県食品安全推進室	全市町村140人	全市町村140人	全市町村140人	達成	-	2	引き続き実施していく。市町村合併の進展に伴い人数の見直しを行う。	
トレーサビリティ・システムの整備	青果物等でのシステム構築の検討	青果ネットカタログ等による生産情報等の提供数	県果樹食品流通課	7件	50件	44件	88%	86%	2	継続して推進していく。	
	ホームページによる県産牛肉の生産履歴情報の公開	ホームページアクセス数	県畜産課	作成中	20,000件/年	8,600件	43%	-	2	さらに取り組みを推進していく。	
食品の安全性に関する情報提供	消費者等への情報提供	県のホームページアクセス件数	県食品安全推進室	3,000件/年	10,000件/年	7,500件/年	75%	64%	2	引き続き分かりやすい情報提供に努めていく。	
食品の安全性に関する相談の受付、苦情の対応	食品安全110番の設置、運営	食品安全110番による相談対応件数	県食品安全推進室	50件/年	70件/年	86件/年	123%	180%	2	引き続き実施していく。	
	消費生活相談員による相談等の対応	消費生活相談員数	県食品安全推進室	全市町村120人	全市町村120人	全市町村120人	達成	-	2	引き続き実施していく。市町村合併の進展に伴い人数の見直しを行う。	
	ホームページやイベントによる相談等の対応	相談対応件数	県食品安全推進室	-	20件/年	4件/年	20%	-	2	イベントでの相談窓口設置を積極的に進めるなど、さらに取り組みを推進していく。	
食の安全・安心について普及・啓発	食の安全・安心フォーラムの開催	フォーラムの開催回数	県食品安全推進室	2回/年	6回/年	4回/年	67%	50%	2	継続して推進していく。	
	研修会の開催や勉強会等への講師派遣	研修会等開催回数	県食品安全推進室	10回/年	30回/年	11回/年	37%	5%	2	事業の周知を積極的に行う中で、さらに取り組みを推進していく。	
	栄養士、調理師、食生活改善推進員等に対する研修会の実施	研修会への参加者数	県健康増進課	2,757人/年	3,000人/年	4,598人/年	153%	758%	2	引き続き実施していく。	
	商品テスト教室、出前講座等の開催	受講者数	県県民生活課	1,500人/年	1,600人/年	・商品テスト教室：3回、29人 ・出前講座：26回、1,146人 計 1,175人	73%	325%	2	関係機関との連携や事業の周知を行う中で取り組みを推進していく。	
	情報誌による情報提供	情報誌の発行回数	県食品安全推進室	-	6回/年	6回/年	100%	-	2	引き続き実施していく。	

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成16年度末）

（3）消費者、生産者、事業者の相互理解・信頼関係の確立

\* 分類欄には、1：廃止、2：継続、3：その他 の別を記入してください。

目標とする事項	取り組み、事業	指標	関係部署	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方針		備考
									分類	内容	
消費者、生産者、事業者との交流促進	児童・生徒・先生等の牧場等への視察の実施	牧場等視察学校児童・生徒数累計	県畜産課	2,420人	3,920人	3,320人	85%	60%	2	継続して推進していく。	
	消費者を対象とした生産から流通現場の視察や意見交換会の開催	見学会、交流会、意見交換会の開催回数	県食品安全推進室	6回/年	6回/年	5回/年	83%	後退	2	継続して推進していく。 H7は6回開催予定。	
地産地消の推進	県産農産物の地産地消の推進	地産地消サポーター数	県果樹食品流通課	60人	600人	263人	44%	38%	2	引き続き登録拡大を推進する。	
		県内市場における県産農産物占有率	県果樹食品流通課	21%	22%	19%	86%	200%	2	市場を経由した学校給食用食材等の利用を推進していく。	
	きのこ・山菜料理教室の開催	講習会開催回数	県林業振興課	6回	6回	2回	33%	後退	2	交流拠点での試食イベントなど、幅広い参加が可能な形態とし、参加者の増加等効率的な事業展開を行う。	
	学校給食等における地域の農畜水産物の活用	学校給食への牛乳の年間供給本数	県畜産課	約1,700万本/年	約1,700万本/年	約1,700万本/年	達成	-	2	引き続き実施していく。	
		学校給食用合理化機器の整備学校数累計割合	県畜産課	8.70%	18.40%	10.00%	54%	13%	2	今後も積極的に機器整備への支援を行う。目標は達成できる見込み。	
		米飯学校給食実施回数	県花き農水産課	2.9回/週	3.0回/週	2.9回/週	97%	0%	2	国や農業団体が行う米消費拡大対策と連動し、学校給食会や市町村と連携を密にし、米飯学校給食の推進を図る。	
米飯学校給食における県産米の使用割合		県花き農水産課	45%	80%	90%	113%	129%	2	県外産米使用4市町村に働きかけるなど、県産米100%を目指した取り組みを推進する。		
学校給食週間での取り組み	県スポーツ健康課	全小中学校	全小中学校	全小中学校	達成	-	2	引き続き実施していく。			
食育の推進	農家での宿泊体験の実施（畜産交流体験事業）	畜産交流体験事業の実施回数	県畜産課	1回/年	1回/年	1回/年	100%	-	2	引き続き実施していく。	
	学校給食関係者に対する食に関する研修会等の実施	研修会等への参加人数	県スポーツ健康課	3,200人	3,400人	3,245人	95%	23%	2	開催日をなるべく参加しやすい時期に設定し、積極的な参加を呼びかけていく。	
	食育実践地域活動支援事業	食育ボランティアの育成数	県農政総務課	229人	600人	4,868人 （「山梨県食生活改善推進員連絡協議会」1団体（構成員：4,868名）を登録「活動の手引き」（平成17年3月作成）や講演会の開催（平成17年2月2日）などにより資質の向上を図った。）	811%	125%	2	1団体の登録により食生活改善推進員が行う分野については十分な活動が可能となった。今後、農業や加工体験、流通分野等の人材のボランティアへの登録と、ボランティアの資質向上に取り組み、食育活動の充実を図る。	
食育出張講座の実施	出張講座の実施回数	山梨農政事務所	-	50回/年以上	63回/年	126%	-	2	食育推進ボランティアを活用し、連携しながら引き続き実施。		

行動計画の主な目標の達成等の状況（平成16年度末）

（4）総合的な食の安全・安心対策を推進するための体制整備

\* 分類欄には、1：廃止、2：継続、3：その他 の別を記入してください。

目標とする事項	取り組み、事業	指標	関係部署	策定時(H5) A	平成18年度末目標 B	平成16年度末実績 C	達成率 (%) C/B	進捗率 (%) (C-A)/ (B-A)	今後の方針		備考
									分類	内容	
施策推進のための情報・意見交換の充実	山梨県食品安全会議の設置、運営	山梨県食品安全会議の開催回数	県食品安全推進室	3回/年	3回/年	2回/年	67%	後退	2	継続して推進していく。 H7は3回開催予定。	
	県民ネットワークづくりの推進	情報、意見交換会の開催回数	県食品安全推進室	-	3回/年	2回/年	67%	-	2	継続して推進していく。	
市町村との連携、情報・意見交換	市町村ネットワークの構築	市町村ネットワーク参加市町村数	県食品安全推進室	-	20市町村	41市町村	205%	-	2	引き続き実施していく。 内容の充実を図っていく。	
NPOや食育ボランティア、自主活動組織との協働	栄養関係団体と連携した食育の実施	地元産物を活用した健康のための料理講習会の開催	県健康増進課	随時	随時	52回/年	達成	-	2	随時実施していく。	
		幼児から高齢者を対象とした健康教室・料理講習会の開催	県健康増進課	随時	随時	85回/年	達成	-	2	随時実施していく。	